

私と消防団活動

城辺方面隊 第2分団 久良支部 班長 三原 邦弥^{くにや} さん



愛媛
CATV
動画



“火点は前方、水利は後方、響く号令つなぐ一線”

8年ぶりの開催となった愛媛県消防操法南宇和地区大会。地元団員やOB、家族や関係者が見守る中、息のそろった操法を披露した城辺方面隊第2分団久良支部の団員5人は、半年間におよぶ練習の成果を出し切り地区大会優勝を果たしました。

指揮者を務めた三原邦弥^{くにや}さんは今年で入団8年目。現在は久良を離れて暮らしていますが、生まれも職場も久良という生粋の“久良っ子”です。「地域に貢献したい」という熱い思いで入団し、今回の大会にも臨みました。久良地区は以前から消防操法への意識が高く、『広報あいなん』令和5年9月号でも、愛媛県消防操法大会（ポンプ車操法）で3度の優勝を果たした当時の団員お2人のインタビューを掲載しました。そうした地域の期待とエールを背に、団員たちは年明けから週3回のペースで練習を重ねてきました。

最も苦勞したのは、団員全員で細かい動作を揃えることだったと三原さんは振り返ります。長く消防団に携わってきた者同士だからこそ見えてきた、呼吸をひとつに合わせることの奥深さと難しさ。それでも練習を重ねるたびに息が合い始め、チームとして最高の形を築き上げていきました。「日々の練習から今日の結果まで、家族や地域の方々の支えがあったからこそやり遂げることができた」と三原さんは笑顔を見せます。家族からは「頑張れ」と送り出され、地域の方からは「今日も練習しているね」と声をかけられることも度々あったといい、そんな何気ない一言一言が団員の背中を強く後押ししました。

約10分の操法を終え撤収の合図がかかった瞬間、ふっと肩の力が抜けると同時に、団員同士で確かな手応えを分かち合ったと話します。2位との僅差を制して掴んだ県大会への切符ですが、「他のチームと比べて“節度”が足りていないと感じた」と、自分たちの操法を指揮者として振り返る三原さん。県大会までにこの課題を克服し、「久良の先輩団員に負けない結果を勝ち取りに行きたい」と力強く語りました。

編集後記

「命の授業」の取材中、池田さんが心を込めて読んでくださった紙芝居に思わずじんとしました。可愛い牛と触れ合った後だからこそ、試食で「食べたくない」とためらう姿も。しかしお肉の焼けるいい匂いに、最後はみんな笑顔で完食！元氣におかわりをする姿に安心しつつも、もうすぐお昼。給食も食べられるかなと、少し心配になりました。命をいただく葛藤と感謝を学ぶ、素敵な時間でした。 S

8年ぶりに開催された消防操法大会。私は初めて生で消防操法というのを見ましたが、今大会に出場した団員の方々が積み重ねてきた練習の日々がどれほど大変なものだったか、私の想像をはるかに超えるものだったと思います。やる気に満ちた表情をカメラに納めようと、火点に向けて走る団員を一生懸命追いかけてただけで息が上がる自分につながりしましたが、それを上回る感動を与えてくれた操法でした。 M

愛南町の世帯数と人口	
令和8年7月1日現在	
世帯数	9,648世帯 -6 (世帯)
人口	17,794人 (-23人)
男	8,462人 (-13人)
女	9,332人 (-10人)
愛南町の高齢化率	48.4%
※ () 内は前月比	
●10年前 同月の人口	22,713人

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>